

令和3年度 業務改善活動報告書

- 有限会社 宗明会
- 小規模多機能型複合福祉施設
見岳荘～けやき～

目次

0. 事業所概要
 1. 改善活動の準備
 2. 現場の気づき・困りごと
 3. 課題の全体把握
 4. 改善方針
 5. 課題を解決するための計画
 6. 取り組みの内容
 7. 取り組んだ結果
 8. 振り返り
 9. 練り直し
- 😊これから実践をしようとしている方へ😊

0.事業所概要

【法人名】有限会社 宗明会

【事業所名】小規模多機能型複合福祉施設 見岳荘～けやき～

サービス種別	小規模多機能居宅介護 併設 住宅型有料老人ホーム
所在地	長野県安曇野市堀金烏川368-1
定員	定員 登録29名
特徴	小規模多機能型居宅介護を主体に住宅型有料老人ホームを併設しております。小多機では必要に応じて当法人が経営する訪問看護と連携して重度化される利用者様にも安心してご自宅で生活できるように支援させていただいております。地域の行事にも参加させていただき、近隣の顔なじみの方々との関りも作らせて頂いております。地域に根差した施設運営を行っております。

1. 改善活動の準備

1. 取り組みメンバーの選出
常勤2名と役員2名

2. 介護サービスにおける生産性向上のとらえかたについて、メンバー全員が理解する。また、この調査名を「業務ダイエット作戦」とし、組織改革を前向きに行っていく。

3. グループワーク

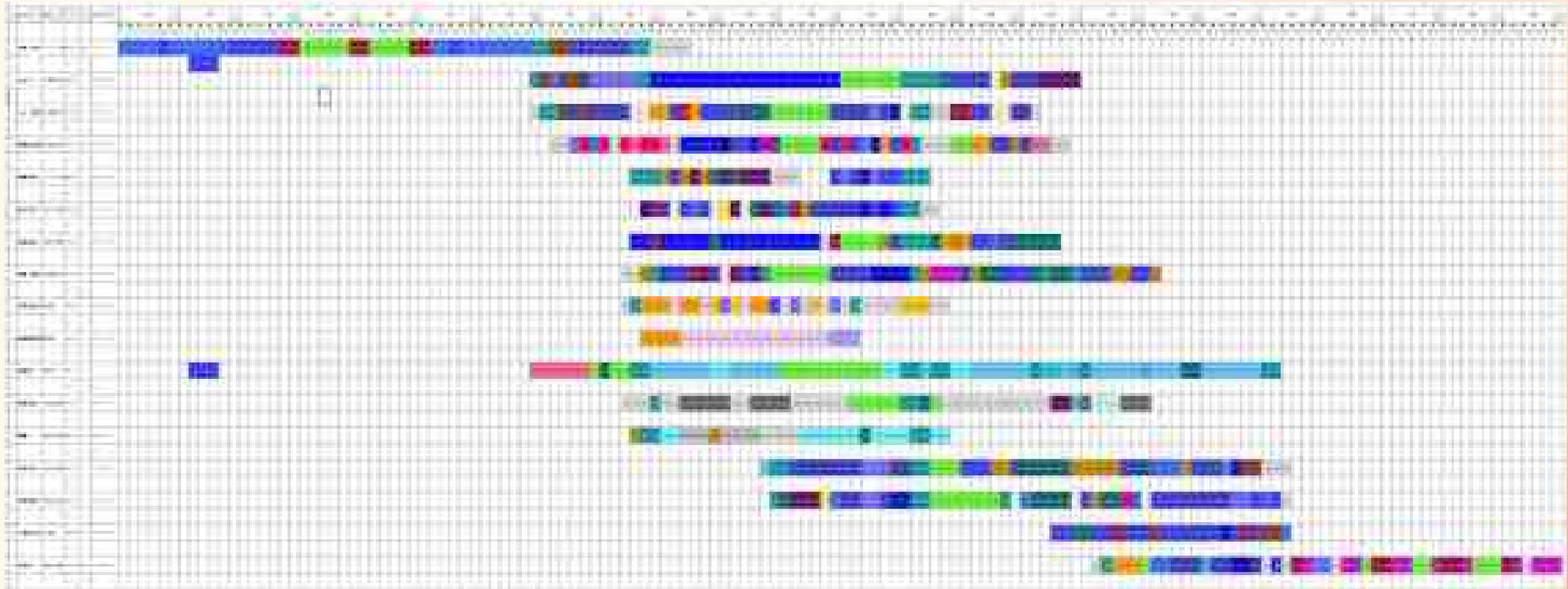
2月14日・15日勤務のスタッフに対し、「業務時間分析票」に記入を依頼。データ化し可視化。3月1日の会議で分析結果を基にどうしていくか計画を立てる。

4. 日常業務の忙しい中、メンバーがそろって取組を進めるためにどのようなルールや対策を講じましたか？

- 全員が集まれる機会が少ないので時間を決めて集まる時間をスケジュールに入れ込み実施した。

2. 現場の気づき・困りごと

- 業務時間分析票を記入してもらった。
- 可視化されたデータを見て、むり、ムダ、ムラを考え計画を立てた。
- 分類分けをしたことで大まかな方向性が見えた。また、同じ業務に対する各スタッフの専門領域への認識が違うことも把握できた。

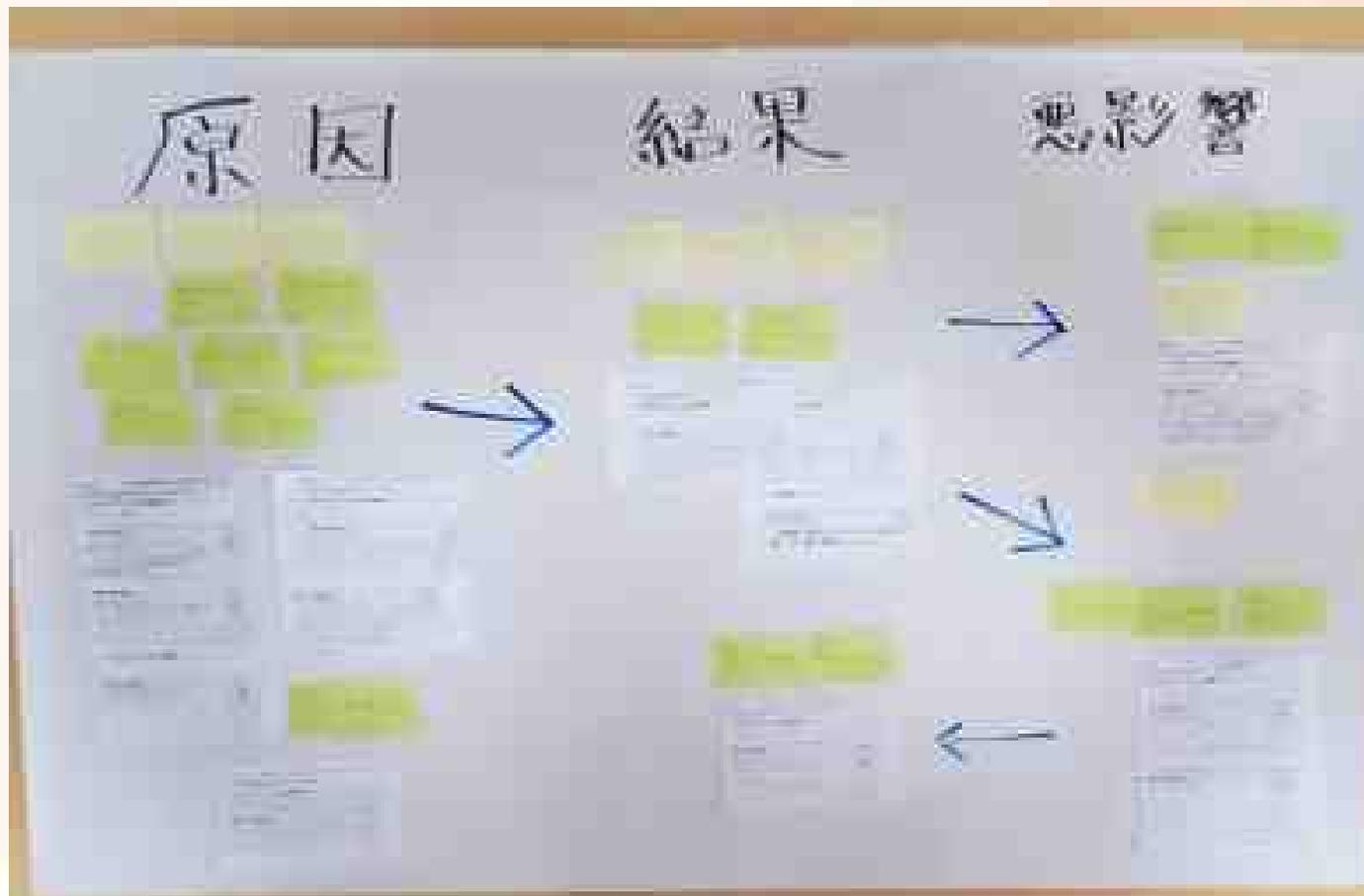


3. 課題の全体把握

スタッフに余裕がない（原因）

業務時間帯により無理がある（結果）

時間帯に無理が生じるとその後の業務に影響が出る（悪影響）

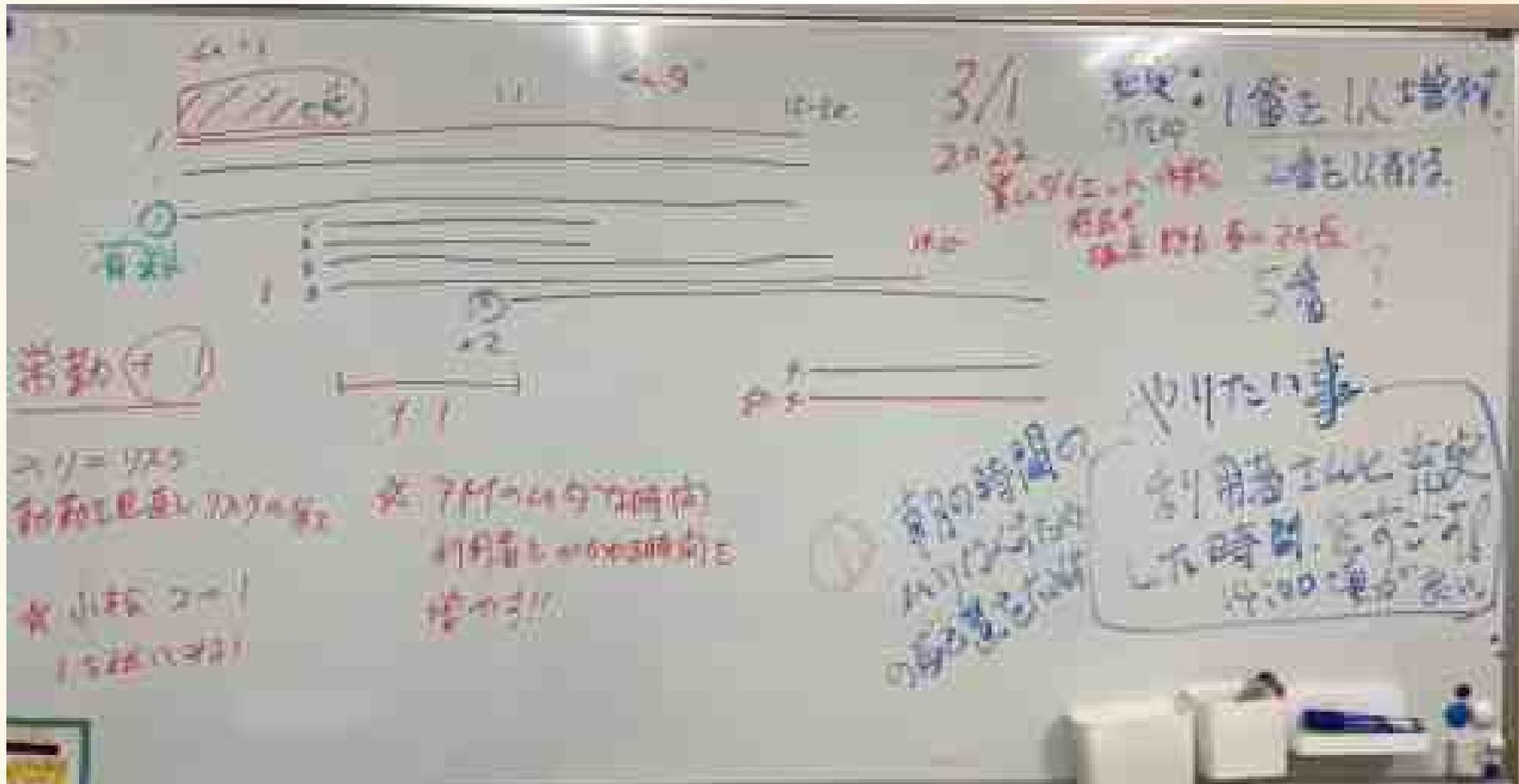


4. 改善方針

	課題 1)	課題 2)	課題 3)
改善する課題	朝の受け入れ席間で食事作業・受け入れ対応と業務が忙しく、利用客への対応が遅くなってしまいます。	朝礼後の出勤が10分ほど遅くなる	
改善活動案	<ul style="list-style-type: none"> - 業務の見直し - 職員の配置検討 	<ul style="list-style-type: none"> - 業務の見直し - 職員の配置検討 	
実施する改善活動	<ul style="list-style-type: none"> - 早番職員を1名追加配置 - 遅番職員を1名早番へ変更 	<ul style="list-style-type: none"> - 早番職員を2名追加配置 - 遅番職員を1名早番へ変更 	
課題解決の取り組み優先度	1位	2位	
担当者	■■■■■	■■■■■	

5. 課題を解決するための計画

- 課題を解決するために、だれが、いつ、何をするか
- 課題を解決するには、どのような取組をするのか、進捗管理シートに書き出しました。



6. 取り組みの内容

■ どのような取組をしましたか？ かきだしてみましよう！

- 改善対象時間内の業務についてアンケートを実施。職員の意識調査を行った。
- 対象時間での改善案について新しい・既存ポジションでの役割分担を明確に決めた。
- 新しいポジションを実際に稼働させてみて、職員からアンケートを行い、業務内容に変化があったか確認した。

■ どのような成功体験がありましたか？ かきだしてみましよう！

- スタッフがバタバタしていないので利用者もゆっくりと過ごせていた。
- ゆとりを持って動けたおかげで先々のことを読んで行動できた。
- 申し送り後の業務移行もスムーズに行えていたように思える。
- ご利用者様のペースに合わせるができる。
- 日勤帯の出勤時に利用者がゆったりとされていた。

7. 取り組んだ結果

■ 取組をすすめて、どのような成果物ができましたか？

➤ 通い利用者の受け入れ時間と、泊まり利用者の朝食時間がかぶってしまう時間帯があり、受け入れ＋食事介助等で勤務内容に無理が生じて忙しい。



➤ 新しいマスターラインで職員の配置を実施してみて、朝の時間帯に余裕が生まれ、その後の業務にもスムーズに移行できるようになった。午後の時間帯も休憩時間に変更になった為、時間にゆとりが生まれ、利用者との関りが出来る時間帯が増加した。

8. 振り返り

- 振り返りで出た意見
 - 業務がスムーズに行えることができた。
 - あさの時間帯の業務を分担することで安心・安全が増えた。
 - 休憩時間が少し変わったことで、利用者との活動的にかかわる時間帯が増えた。
 - 受け入れ時間帯の業務への無理が減少した。

9. 練り直し

■ 練り直し案

- 業務に組み込み、無理・ムダな時間帯を再度確認しながらスムーズな業務形態を創造していき、利用者との関りの時間を増やせるように取り組んでいく。

😊これから実践をしようとしている方へ😊

- 業務時間の内容を再確認して、無理な時間を解消して安心安全な職場を提供することにより、利用者様への関りの時間を増やしていき、活動的な環境を提供できる。
- ムリな内容を検討することでその後の業務もスムーズに行えるようになりました。（効率化）